

## 令和3年10月 定例教育委員会会議録

開催日	令和3年10月26日(火)
出席委員	教育長 鈴木慶光 委員 新美大 委員 榊原肇 委員 久米宏和 委員 正村日登美 委員 桂優子
説明のため出席した職員	教育部長 岩橋平武 学校教育課長 森田知幸 主任指導主事 鈴木康弘 指導主事 神野真輔 給食センター所長 前田成久 生涯学習課長 新美恭子 図書館長 山下由美 博物館長 関正樹 南吉記念館長 遠山光嗣
事務局	学校教育課総務担当主査 後藤 友紀子
協議事項	(1) 令和4年度儀式等の日程について
報告事項	(1) 3か年実施計画について (2) 寄附、後援願等について (3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (4) 令和3年度全国学力・学習状況調査 半田市の結果について (5) 各種事業について ①「パパもいっしょにちいさいおたのしみ会」の開催について ②「大人のためのおはなし会」の開催について ③「えほん講座」の開催について ④亀崎図書館「とよかんまつり」の開催について ⑤亀崎図書館「ぐりとぐらのカステラを作ろう」の開催について ⑥博物館講座「華のしめ飾りづくり」について ⑦「第36回博物館友の会合同展」について ⑧企画展「南吉の旅」の開催について ⑨「ガリ版体験」の開催について

〈 開会 10時00分 〉

1. 前会の会議録の承認	(教育長) 教育委員の任期満了に伴い、新教育委員(正村委員)を紹介。  (事務局) 9月定例会の会議録について概要説明 → 承認
2. 教育長報告	(教育長) ・10月1日、半田東高校教育コースに在籍する生徒がそれぞれ教育に関する課題について調査研究を行い、日本福祉大学の教員の指導の下、まとめたものを発表した。それぞれがまとめたものを聞き、教育に関する課題が多いことを改めて感じたとともに、高校生としてよく調べてまとめ、堂々として発表している姿は、大変頼もしく思えた。 ・10月2日、乙川東小学校で秋の運動会が開催されたのを始めとして、順次、各校

	<p>にて秋の運動会が予定されている。また、修学旅行は今月末までに 13 小学校全てが実施予定である。コロナの感染拡大が落ち着いている状況であり、子ども達は修学旅行が実施されることを大変喜んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月6日、知多地方教育事務協議会が開催され、次年度の知教協としての教職員の人事異動方針を確認した。これに伴い、10月25日までに18小中学校長との校長面談を終え、次年度に向けた教員異動希望について確認を行った。なお、今年度退職校長は6名、退職教頭は2名であり、異動が多い印象を受けた。</li> <li>・10月9日、新美南吉記念館事業推進委員会が開催され、委員からご意見をいただいた。110周年を迎えるにあたり、さらなる南吉を活かしたまちづくりを考えていかなければならないと、改めて感じた。次年度は、全小中学校が記念館を訪れる機会を設けていく。</li> <li>・10月13日、新たな制服導入に向け、制服委員会が開催された。</li> <li>・10月22日、知多地区における家庭教育推進協議会が開催された。5市5町における家庭教育、子育てについて情報交換を行い、地域力を高めていく会であり、その一環として11月24日に子育て交流会が予定されている。その会にて半田市幼稚園PTA連絡協議会の取り組みについて表彰されるので、お知らせする。</li> </ul>
<p>協議事項 1) 令和4年度 儀式等の日程に ついて</p>	<p>(主任指導主事) 愛知県都市教育長協議会より、令和4年度の小中学校の入学式、始業式、終業式、卒業式の日程が示された。その日程に従い、半田市の幼稚園、小中学校における、令和4年度の儀式等の日程案を提案させていただく。</p> <p>(榊原委員) 委員の出席は、コロナの状況を鑑み見合わせていたが、次年度はどうなるのか。</p> <p>(主任指導主事) コロナの感染拡大状況により、判断を行うことになるが、現時点では、学校における教育活動は全校児童生徒が一斉に体育館に集まることができない状況である。このことを考慮すると、次年度も委員の出席は難しいと考えている。最終的には、県教育委員会の通知等を参考にして、各校と相談しながら決定していく予定である。</p> <p>(教育長) 入学式・入園式、始業式、終業式、卒業式の日程は、日程案の通りとする。</p>
<p>報告事項 1) 3か年実施 計画について</p>	<p>(学校教育課長) 令和4年度から6年度までを対象とする3か年実施計画が11月9日に公表されるのに先立ち、教育委員会関係分を説明する。公表までの情報の取扱いには注意いただきたい。</p> <p>学校教育課の事業のうち、主なものを説明する。 「ICT教育推進事業」は、新規事業で整備した1人1台パソコンを整備した後、いかに有効活用していくかを計画するためのコンサルティング業務委託である。「乙川中学校改築等事業」は、計画どおり工事を継続し、令和4年度の3学期から供用開始する。令和5年度には、旧校舎解体後の運動場整備ほか外構整備に係る費用を計上している。「小学校・中学校校舎外壁改修及び屋根防水事業」は、老朽化により校舎の外壁が崩落するのを防ぐため、外壁の改修と屋根の防水を行うもの。「亀崎小学校改築等事業」は、乙川中学校に続き、老朽化した校舎を改築する事業で令和4</p>

年度に基本設計、令和 5 年度に実施設計を行い、令和 6 年度からは建築工事を開始するもの。「小学校・中学校情報機器整備事業」は、1 人 1 台パソコン整備に係るものであり、全体の 3 分の 1 のパソコンのリース代を始め、ICT 支援員やソフトの使用料など、毎年係る必要経費である。「切れ目のない支援体制整備充実事業」は、新規事業で、医療的ケアを必要とする児童生徒及びその保護者の負担を軽減するもので、看護師や介助員を配置するなど支援体制を整備するもの。「小学校水泳授業指導補助委託事業」は、新規事業で、小学校の体育で行う水泳指導を業務委託することにより、効率化するとともに、学校のプールの解体により維持費の削減と同時に、プールの跡地を公共施設用地とすることで、用地の有効活用を図りたいとするものである。

(給食センター所長)

「学校給食残菜等運搬処理事業」は、令和 4 年度から知多南部広域環境センターでの焼却処理が始まることから、給食センターから発生するごみのうち、給食の残菜等は、半田市バイオマス産業都市構想に基づき、民間事業者でバイオマス資源として処分し、地域循環型社会に寄与していくものである。なお、残菜等以外のごみについては、産業廃棄物を除き、知多南部広域環境センターへ運搬し、処分する。「新学校給食センター建設事業」は、令和 6 年 9 月の供用開始に向け、準備をしているが、昨年度の計画から、敷地造成工事を令和 4 年度単年度で実施することに変更した。「学校給食費管理システム導入事業」は新規事業であり、小中学校教職員の業務負担を軽減し、児童生徒に向き合う時間を増やすため、令和 6 年度から国のガイドラインに沿った学校給食費の公会計化を目指すもの。従来教職員が実施していた学校給食費の徴収管理等の事務を半田市に引継ぎ、学校給食センターで直接実施していくためのもので、実施に伴い必要となるシステムの導入に係る経費と翌年度以降のランニングコストを計上するものである。

(生涯学習課長)

「岩滑公民館改修事業」は、今年度、旧公民館の解体が終わり、新公民館建屋の建築工事に入り、令和 4 年度に完成後、備品等の整備を行い、当初の計画通り、令和 5 年 1 月の供用開始を予定している。「音楽のあるまちづくり事業」及び「文化芸術普及推進事業」は、セントラル愛知交響楽団との協定に基づきこれまで実施してきた 3 か年事業である「音楽文化振興事業」と、3 か年事業以外の「文化振興事業」「美術展開催事業」の 3 つの事業を一旦まとめ、改めて分類してこの 2 事業に整理したものである。「音楽のあるまちづくり事業」では、セントラル愛知交響楽団との協定に基づいて音楽文化振興を進めてきた経緯から、音楽文化を本市の文化振興全体の中心に位置づけたもの。これまでセントラル愛知交響楽団の音楽に親しんできた市民に、体験活動や発表機会、多様なジャンルの音楽に触れる機会を提供することで、新たな文化の創造を図っていく。「文化芸術普及推進事業」では、市民が文化芸術に興味を持つきっかけをつくったり、親しみを深めてもらったりすることを目的として、身近に文化や芸術に触れ、体験できる事業を展開していく。文化芸術に興味がなかった方に、その魅力を感じてもらう第一歩となる機会を創出しようとするものである。「成岩公民館改築等事業」は、老朽化した成岩公民館を成岩小学校プール跡地に移転、改築するもの。令和 5 年度に事業着手し、プールの解体や測量等の調査を行い、令和 6 年度に基本実施設計を実施する。

(図書館長)

「地域資料等デジタル事業」は、貴重資料の保存、利用者の利便性向上と業務効率化を図るため、図書館で所蔵する郷土資料などをデジタル化するための費用を計上したものの。具体的には、資料のスキャン費用であり、今年度から資料選定などの準備を進め、令和6年度に新規事業として実施する予定である。可能なものについては、はんだ電子図書館で公開することを検討している。

(博物館長)

「図書館、博物館施設等改修事業」は、老朽化しているトイレの改修、更新時期を迎える地絡継電器の取替えなどを順次実施していくもの。トイレの改修では、和式から洋式への変更、オムツ交換台の男性用・女性用トイレ双方への設置を行う。「企画展開催事業」は、博物館のメイン展示として令和4年度は、「知多半島の化石」等を行う。「知多半島の化石」は、令和2年度で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、資料の借用が難しくなり中止としたが、子ども達に好評なため、令和4年度事業として再度取組むことにしたもの。「旧中埜家住宅保存活用事業」は、外観も含めた公開活用を拡充していくため、装飾や展示などを順次充実させていくもの。「山車ガイドブック作成事業」は、令和4年度に予定していた印刷製本などに加え、令和3年度にコロナの影響により組上げのできなかった山車の撮影を行い、ガイドブックを作成していくもの。「全国山・鉾・屋台保存連合会総会亀崎大会開催補助事業」は、亀崎潮干祭保存会が中心となって組織する実行委員会に対する支援である。全国山・鉾・屋台保存連合会は、国の重要有形民俗及び、無形民俗文化財の指定団体と、団体が所在する行政により組織されているもので、はんだ山車まつりのPRを兼ね、本市で総会が開催されることで、本市全体の山車文化を広く市内外にPRするものである。

(新美南吉記念館長)

「南吉生家改修・駐車場整備事業」は、令和5年の南吉生誕110年を前に南吉生家の傷んだ外壁を貼り換えるもので、あわせて生家見学者用駐車場がこれまで借地だったところ、すぐ近くに用地を確保できるようになったので、これを購入・整備するもの。「新美南吉生誕110年記念事業」「新美南吉記念館展示室一部リニューアル事業」「ストップモーションアニメごん上映事業」は、生誕110年を記念して行う行事やハード整備である。「新美南吉生誕110年記念事業」は、市内小学生に参加を募り、「ごんぎつね」の朗読を半年かけて練習し、発表会を行うものであり、その練習を令和4年度から始めるための事業費である。「新美南吉記念館展示室一部リニューアル事業」は、開館以来27年間ほぼ変わっていない展示室の展示パネルをリニューアルし、ビデオシアターの上映内容を充実するもの。「ストップモーションアニメごん上映事業」は、令和元年に公開され、国内外の映画賞でも受賞するなど高く評価されているストップモーションアニメごんを、生誕110年の1年間、ビデオシアターで常時上映できるようにするとともに、令和5年1月からのリニューアルオープンに合わせて、アニメの撮影に使われた人形や小道具などを展示する企画展を開催するものである。「新美南吉記念館トッライト修繕事業」は、記念館の屋根に設置されている排煙用天窓が長年の風雨で腐食し、雨漏りを起こしているため、修繕するものである。なお、これらの事業に伴い、一時休館することを予定している。

(新美委員)

「小学校水泳授業指導補助委託事業」の内訳について教えてほしい。

(学校教育課長)

令和 5 年度は、成岩小学校 1 校分の費用であり、令和 6 年度は、成岩小、亀崎小、花園小 3 校分の費用である。

(新美委員)

どのように指導を行うのか教えてほしい。

(学校教育課長)

民間のスイミングスクールに委託を行い、委託業者が学校に児童を迎えに行き、委託業者が所有するプールにて児童が水泳指導を受ける予定である。

(榊原委員)

教育懇談会にて要望されたことが 3 か年実施計画にどのように反映されているか教えてほしい。

(学校教育課長)

主なものとしては、「いじめ・不登校対策事業」「学校生活支援事業」「日本語初期指導事業」が該当しており、支援員等の人員、時間増を行うことで対応している。

(新美委員)

「学校給食費管理システム導入事業」について、これまでから今後がどのようになるのか教えてほしい。

(給食センター所長)

これまで、独自の手作りソフトを使用して管理していたが、今後は、システムを導入することで給食センターにて給食費の未納が発生した場合の対応を行うことに変更し、教職員の負担を軽減していく。そのため、システム導入に伴い、運用・保守として費用が発生することになる。

(正村委員)

これまで、学校が把握していた未納に対する情報は、今後どうなるのか。

(給食センター所長)

様々なケースが考えられるため、給食センターで把握した未納に対する情報提供を含め、対応についても学校に確認を行うとともに、連携を図って徴収対応していく予定である。

(久米委員)

未納者は何名いるのか。

(給食センター所長)

滞納繰越分も含めるとのべ約 200 人程度である。

2) 寄附、後援願等	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2件の寄附。 (内訳：1件小中学校理科教材充実のための現金寄附。1件博物館へ資料充実として茶道具入れの寄附。)</li> <li>・16件(うち、1件が新規)の後援名義を許可。</li> </ul> <p>(委員からの質問等なし)</p>
3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	<p>(指導主事)</p> <p>令和3年9月21日～10月21日の交通事故・問題行動等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故：3件 <ul style="list-style-type: none"> <li>9月27日(月)1件</li> <li>10月5日(火)1件</li> <li>10月7日(木)1件</li> </ul> </li> <li>○問題行動(被害)等：2件 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月6日(水)1件</li> <li>10月          1件</li> </ul> </li> <li>○交通事故以外の事故：1件 <ul style="list-style-type: none"> <li>9月28日(火)1件</li> </ul> </li> <li>○学校等被害：なし</li> <li>○不審者情報：2件 <ul style="list-style-type: none"> <li>9月24日(金)1件</li> <li>9月29日(水)1件</li> </ul> </li> </ul> <p>(委員からの質問等なし)</p>
4) 令和3年度全国学力・学習状況調査 半田市の結果について	<p>(指導主事)</p> <p>(資料に基づき説明)</p> <p>児童生徒の学力に関わる結果について、平均正答数、平均正答率、偏差値など掲載しているが、序列化や過度な競争をあおって本調査に具体的な支障を及ぼす恐れが高いことから、学校別の数値による情報は公開しないこととなっているため、取扱いには注意いただきたい。</p> <p>「経過及び今後の予定」については、記載のとおりであり、来年度は、国語と算数・数学、理科の3教科において調査が行われる。「調査の目的」「調査対象」「調査内容」は、記載のとおりである。「本市の学力の結果」については、4月に実施している全国標準学力テストと比べると、小6の国語はやや低いレベルである。それ以外は全国と同等もしくは少し高いレベルである。</p> <p>学校別の結果として、小学校は、国語、算数ともに全国より低いレベルである。中学校は、国語が全国よりやや低いレベル、数学は全国より低いレベルであるが、文科省では、全国平均との差について、5%以内は「大きな差はない」と表現しており、いずれも5%以内となっている。</p> <p>全国標準学力テストの結果を見ると、小学校では全国偏差50に達しない学校が、中学校では全国偏差レベルまで向上していることから、義務教育9年間で児童生徒は学力をつけている結果になっている。一方、小学校において、標準学力テスト、全国学力・学習状況調査ともに全国を下回っている学校があることが課題である。</p>

	<p>「本市の児童生徒質問紙の結果」として、(1)全国と比較してよい点、(2)改善が見られる点については、記載のとおりです。特に顕著なのは、話す・聞くにかかわる部分に大きな改善が見られ、様々な学習において、対話を重視した活動を行っている結果であるとする。(3)改善が必要であると思われる点については、自分には良いところがあると思う、失敗を恐れなくて挑戦している等の回答が全国と比べ少なく、1人1人の自己肯定感を高める取り組みが必要である。「学校質問紙の結果」からは、ICT機器の積極的な活用、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした、地域との協働が全国よりも大幅に上回っている。研修については、個々の教員が自らの専門性を高めたり、研修の成果を教育活動に反映させたりすることが少ないことは課題である。「学力向上対策」については、「半田市キャリア ABCD」をベースに、授業の中で「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、意図的・継続的に授業改善に取り組むとともに、児童生徒主体の授業への転換、学習を通して達成感や自己効力感が味わえるような学習活動や評価の工夫、教員自身の授業力の向上に向けた取り組みが重要である。今後は、各校ごとにも、調査結果の分析を行っているので、ICT機器をうまく取り入れながら、授業改善、学力向上を目指して取り組んでいく。</p> <p>(新美委員)      外国籍児童等が比較的多くいる学校を含めて、同じ視点で判断することは、好ましくないと思うが、9年間で全国平均に学力が上昇するならば、小学校時点で全国平均に到達しているようになれば、中学校3年間で更なる学力上昇が期待できるのではないかと考えるが、いかがか。</p> <p>(指導主事)      文部科学省でも就学援助世帯は、全国的にみても学力が低くなる傾向にあると示しているが、学力向上に向け、ICT機器を使用することにより、改善を図っていきたい。</p> <p>(桂委員)      今回の調査は、5月に実施しており、学力向上に向けた実践が12月になっているのは、なぜかを教えてほしい。また、「自分にはよいところがあると思う」と感じている児童生徒が年々減少していることについて、どのように分析しているかを教えてほしい。</p> <p>(指導主事)      調査結果が返却される時期が9月であり、返却後から分析を行うため、時間を要する。そのため、現状としては12月からの実施となっている。      また、児童生徒の自己肯定感については、全国に比べるとそれぞれ4%低いものの約7割以上の児童生徒が「自分にはよいところがあると思う」と回答している結果となっている。</p> <p>(教育長)      調査結果では、「ゲームの時間が長い」「決まった時間に寝ている」といった点についても減少傾向にあるため、改善に向け、対応が必要であると感じている。</p>
5) 各種事業について	<p>(図書館長)</p> <p>① 「パパもいっしょにちいさいちいさいおたのしみ会」について      3歳以下のお子さんとその保護者を対象に、乳幼児向け読み聞かせグループ「あんこ</p>

ろもち」の皆さんが大型絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを上演する。11月6日(土)11時から、定員40名で現在申し込み受付中。

② 「大人のためのおはなし会」の開催について

11月14日(日)14時から、半田ストーリーテリングの会「おだんごばん」の皆さんが、本などを使わずにお話を語る。対象は、小学校高学年以上、定員20名で申し込み受付中。

③ 「えほん講座～えほんで楽しく子育てを～」の開催について

5歳以下のお子さんのご家族や読み聞かせに興味のある方が対象の講座。子育てへの絵本の取り入れ方のお話とおすすめ絵本の紹介をする。講師はあかちゃんとしょかんボランティア「あっぷっぷ」の代表で子育てネットワークの前田早苗氏。11月19日(金)10時30分から、定員20名で申し込み受付中。

④ 亀崎図書館「としょかんまつり」について

11月28日(日)に亀崎公民館2階で開催する。たくさんの人に図書館ボランティアの活動を知っていただくとともに、図書館に親しみを持っていただくことを目的に開催するものだが、昨年度はコロナウイルス感染拡大により開催できなかった。今年度は、コロナ対策として、午前・午後の2部制とし、定員を決めて事前申込制とした。また、密を避けるため、リサイクル図書の配布は実施せず、午前の部は3歳以下のお子さんとその家族が対象で、読み聞かせやパネルシアターの上演などを行う。午後の部は年齢等の制限は設けず、読み聞かせやストーリーテリングなどのほか、工作や録音体験も楽しめる内容となっている。また、日本福祉大学生の協力で、一緒に遊ぶコーナーも設ける。10月29日(金)から12月3日(金)まで申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選とする。

⑤ 亀崎図書館「ぐりとぐらのカステラをつくろう」について

絵本「ぐりとぐら」に出てくるカステラを作り、焼きあがるまでの間に読み聞かせを楽しむ内容となっている。4歳から小学4年生とその同居の保護者が対象で、参加費は1組300円。11月26日(金)から12月3日(金)まで申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選。なお、コロナウイルス感染状況によっては中止となる場合がある。

(博物館長)

⑥ 「華のしめ飾りづくり」について

12月25日(土)に開催する。この講座は、知多半島内でフラワーアレンジメント講師をされている近藤水名子氏を講師に迎え、花をあしらった正月用のしめ飾りを参加者自身が手作りで製作する博物館の人気講座。

⑦ 「第36回半田市立博物館友の会合同展」について

12月4日(土)から12月12日(日)までの間、開催する。今年で36回目を迎える本展では、博物館友の会の6つの部会、「拓本」「はたおり」「染色」「陶芸」「古文書」「歴史」部会の活動成果をご覧いただくため、部会員が製作した作品を中心に展示する。

(新美南吉記念館)

⑧ 企画展「南吉の旅」について

新美南吉は生涯の間に、京都、奈良、信州、日光、富士山、伊豆大島など全国の名勝旧跡を訪れている。訪れた観光地の当時の写真や地図、南吉が遺した日記やそこに関連する作品などを通して、南吉の旅をたどっていく。コロナ禍で思うように旅行に出かけられない今だが、展示を通して旅行気分を味わっていただけたらと思う。会期は、



	<p>10月30日(土)から1月10日(祝・月)まで。</p> <p>⑨ 「ガリ版体験」の開催について</p> <p>謄写版、通称「ガリ版」は、南吉も詩集を作ったり、女学校の問題用紙を刷ったりと、よく使っていた。昔は役所や学校でも普通に使われていたガリ版だが、いまでは60代以上の方でないと使い方がわからないのではないかとと思われる。そこで年輩の方には懐かしく、子どもさんには初めて経験として、ガリ版刷りを体験してもらおうと企画したものである。コロナ対策で定員を絞っているということもあるが、既に定員に達している状況である。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
各課からの事務連絡	<p>(主任指導主事)</p> <p>10月13日(水)に第2回令和の時代の制服を考える会議を開催した。会議では、マスターメーカーをプロポーザル(企画・提案)により選定した。3社から応募があり、「名古屋菅公学生服株式会社」を選定した。今後、新たな制服のデザイン、仕様書の作成に取り組んでいく。また、7月に市内小学4年生から中学3年生までを対象に実施したアンケート結果について報告を行った。なお、本結果については、本市教育委員会ホームページにも掲載している。</p> <p>児童生徒に対するアンケートは、ほぼ100%近い回答率であった。結果では、新たな制服を決めること、下の制服を選べることについては、90%近くが賛成との結果になっている。また、今後中学生が着る制服として、多くの生徒がブレザー・スーツ、スラックスがふさわしいと回答した結果になっている。保護者に対するアンケートは、インターネットを使用して実施したところ、50%弱の回答率であった。結果では、児童生徒同様、保護者の90%近くが新たな制服を導入すること、下衣を選択できるようにすることに対し、肯定的であった。また、今度中学生が着る制服としても、児童生徒同様、ブレザー・スーツ、パンツスタイルがふさわしいと多くの方が回答している結果であった。さらに、制服は必要ないと考える保護者も少ないことがわかる結果となった。</p> <p>このことから、ブレザー型で市内統一かつ、下を選べるものを導入することを結論付けた。また、保護者アンケートによる制服にあるとよい機能としての結果を踏まえ、今後新たな制服を決定していく予定である。</p> <p>(榊原委員)</p> <p>制服購入では、どのくらい費用がかかるのか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>現時点では、概ね2万円台から4万円台くらいの幅がある。導入にあたり、価格については、現在と同価格で対応できるようにしたいと考えている。</p> <p>(榊原委員)</p> <p>新しいものを購入するにあたり、補助制度等はあるのか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>現時点では、補助制度はない。経済的負担も考慮し、市内中学校とも相談しながら、現在の制服でも、新しい制服でも可としていく予定である。</p>

	<p>(生涯学習課長)</p> <p>2点報告を行う。</p> <p>1点目として、10月23日(土)に第74回半田市美術展の作品搬入があり、最終の出品数は、合計253点。2年前の合計283点から30点減少した。10月24日(日)に審査も終え、審査委員の言葉をお借りすれば、出品数は減ったが力作揃いとのことである。</p> <p>2点目として、8月に緊急事態宣言が発出されたことに伴い、ガラコンサートを中止した。直前の中止であったため、セントラル愛知交響楽団のスケジュールもキャンセルがきかない状況であったため、大ホールで演奏してもらい、動画撮影をした。その動画を、ガラコンサートダイジェスト版として合計1時間程度の動画にまとめ、HPで公開している。ガラコンサートのチケットを購入された方を中心にお知らせしているが、どなたでもご覧いただくことができるので紹介させていただく。なお、インターネットからの視聴ができない方のため、美術展の1日目と2日目に雁宿ホール大ホールにおいて、動画を鑑賞できる機会をつくる。</p>
教育委員からの意見提言等	<p>(桂委員)</p> <p>全国学力・学習状況調査における保護者宛の通知について、内容を拝見した。家庭では、こんなところを大切にしてほしい、学校ではこんなことに取組んでいくといったことを分けて通知していただけると、保護者としては、家庭での生活において気を付けるのではないかと感じた。また、子ども達のよい傾向に記載されている「人の役に立つ人間になりたいと思っている」「人が困っているときは進んで助けている」といった内容がなかなか目に入ってくるのではないため、少し残念に感じた。</p> <p>(教育長)</p> <p>いただいた意見を参考に、今後保護者宛の通知を作成するときには、注意していきたい。</p> <p>(正村委員)</p> <p>コロナ禍であるため、学校行事にも保護者はなかなか見学することができないと伺った。そのため、行事では音楽を使用することもあり、著作権問題もあると思うが、行事風景を発信する方法について検討していただけると良いと感じた。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>音楽の著作権と同様に、授業風景についても教科書における著作権があり、現時点では配信できない状況にある。今後、配信できるようにするための方法、仕組みについて検討していきたい。</p>
次回開催等	<p>(事務局)</p> <p>次回の定例教育委員会は11月19日(金)10時～ 会場：半田市役所会議室304</p> <p>次々回の定例教育委員会は12月24日(金)15時～ 会場：半田市役所会議室304</p> <p>10月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 11時45分 〉